書で回答してまいりました。

説明会では、進入路の考え方や急勾配である現道の降雪時の対策、道路などのコスト積算の精度、高圧線下の規制など、多くのご質問をいただきましたので、検討結果を昨年12月に市議会の総務厚生委員会へ、1月には地域の皆様を対象とした説明会を開催しご報告しました。その報告内容は次のとおりです。

【表 2】

候補地＼基本方針	故人との最後の別れのセレモニーにふさわしい火葬場	近隣住民の生活環境に配慮した火葬場	建設および維持管理のコストを考慮した火葬場	ユニバーサルデザインに配慮した火葬場	省エネルギー対策など自然環境に配慮した火葬場	54点	100点満点換算	順位
1 松倉町地内林道宮･高山線沿い	16	16	4	1	3	40	74	6
2 越後町地内市道越後松倉線北側200m付近	15	13	9	2	6	45	83	3
3 下切町地内上野浄水場付近	11	14	9	2	5	41	76	4
4 新宮町地内旧原山市民スキー場ゲレンデ	15	10	9	2	5	41	76	4
5 新宮町地内県生活技術研究所南側付近	10	11	7	2	3	33	61	11
6 松之木町地内ひょうたん池隣接地	15	15	5	1	3	39	72	8
7 大洞町地内大ハグラウンド北側500m付近	12	10	7	2	4	35	65	10
8 片野町3丁目地内市道石浦大洞線北側400m付近	14	15	6	2	3	40	74	6
9 上岡本町7丁目地内スカイパーク一部（西側部分）	18	14	8	3	6	49	91	1
10 国府町瓜巣地内寿美峠頂上北側付近	15	18	7	2	4	46	85	2
11 国府町瓜巣地内寿美峠頂上南側付近	15	17	1	2	3	38	70	9

質問に対する検討経過

①進入路の検討

現道の進入路は、最高勾配が13％を超える急勾配なため、どれだけでも緩やかにすること、また、公園利用者との動線の区分を考え、現道とは別の進入路を【図1】のとおり検討しました。

図中①の進入路は飛騨高山高校の道路向かいからの進入路を検討したものです。進入路の平均勾配は約11.4％、斜面が急なため法面が多く必要となり、公園の北側部分を大きく削らなければならなくなること、更に工事費が大幅に高くなることなどから、現実的ではないと判断しました。

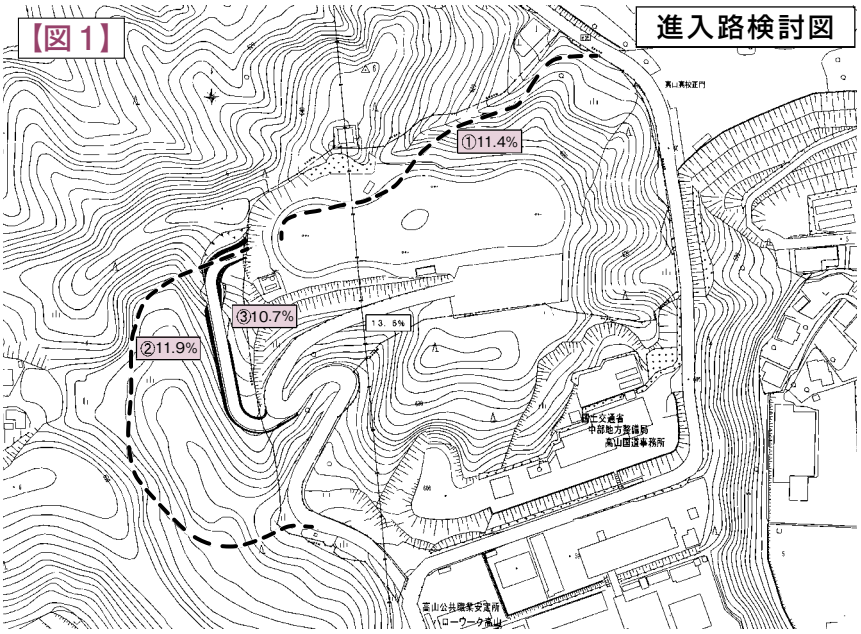
図中左側の②は、現道の登り口付近から渋草団地側に大きく迂回する進入路を検討したものです。進入路の平均勾配は約11.9％、道路法面の面積が多くなることや森林伐採面積も多くなってしまうことなどから、これも現実的ではないと判断しました。

次に③の進入路ですが、公園に上がっていく現道の途中から、公園の西側隣地に迂回するもので、平均勾配は約10.7％となります。

現道を除き、考えられる進入路の中では、森林伐採に係る環境への配慮や道路勾配と整備に係るコストなどを勘案した結果、この③の公園西側進入路の新設が望ましいと考えました。

②配置の検討

【図2】は、③の進入路を整備した場合に考えられる火葬場施設の配置を検討した図面です。進入路の勾配と建物の公園側に対する圧迫感を考慮し、敷地の高さを現在の公園芝生の地盤高より3メートル程度下げることとし、建物をできるだけ西側に配置しました。なお、ここに示した平場の敷地面積については、必要とする炉の規模を4炉とする場合の建物床面積を約2,000㎡と想定した上で、その建物が設置できると考えられる広さを約5,000㎡としたものです。その火葬場敷地の広さは、公園敷地の4割程

【図 1】

進入路検討図